令和3年度第3回臨時
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

令和3年度第3回臨時松本市教育委員会会議録

令和3年度第3回臨時松本市教育委員会が令和3年8月19日午後1時30分教育委員室に招集された。

令和3年8月19日(木)

議 事 日 程

令和3年8月19日午後3時00分開議

第1 開 会

第2 教育長挨拶

第3 議 事

[議案]

第1号 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

[その他]

新学期の対応について

教 育 長 伊佐治 裕 子

〔出席委員〕

教育長職務代理者	小 柳 廣 幸
教 育 委 員	福 島 智 子
”	橋 本 要 人
”	佐 藤 佳 子

〔出席職員〕

教 育 部 長	藤 森 誠
教 育 政 策 課 長	赤 羽 志 穂
学校支援センター長	高 野 毅
学校支援センター主任指導主事	牧 野 圭 介

〔事務局〕

教育政策課	
教育政策担当係長	三 澤 良 彦
” 係長	小 澤 弥 生
” 主査	伊 藤 明 広

開会宣言 午後 1 時 3 0 分

伊佐治教育長は令和 3 年度第 3 回臨時松本市教育委員会の開会を宣言した。

教育長 定刻になりましたので、第 3 回臨時教育委員会を開会します。

本日は臨時教育委員会ということで、皆さんご参集いただきましてありがとうございます。臨時を開催する理由としましては、例年市議会の 9 月定例会に提出をします「教育に関する事務の点検評価」の原案を議会に提出する関係で日程の締め切りがあるということで、今日この案件だけお願いすることにいたしました。

それから、議案ではないのですが、その他ということでご承知のとおり、コロナの感染状況がこのようになったため、県では昨日県立学校に対する方針案が示されましたけれども、これを受けて市立小中学校における学校運営の基本方針について 2 学期も始まっておりますので、改めて通知をしたいと思います。事前に案について教育委員の皆さんにはご意見を伺っていますけれども、本日学校宛てに通知したいということで、確認をさせていただくという内容になります。どうぞよろしくお願いいたします。

署名委員の指名

教育長 本日の会議録署名委員は佐藤委員、小柳委員です。よろしくお願いいたします。

それでは、その他になりますけれども、新学期の対応について冒頭、確認させていただきます。

お手元に通知文の案がありますので、ご覧いただきたいと思います。説明は高野センター長お願いします。

<その他> 新学期の対応について

学校支援センター長 その他「新学期の対応について」説明

教育長 これについては、昨日案を皆さんにお送りをしまして、各委員からいただいたご意見を基に改めて保健所長にも確認をして、特にデルタ株への関わりに対する基本対策の徹底ということで指導、助言を受けていますので、その部分を追記しております。

何かご意見ご質問はありますか。

橋本委員 県からの通知は新聞紙上でしか見ていないのですが、結構細かいことがいっ

ばいありましたか。

教育長 お手元に参考までに県立学校長宛ての県の通知をお配りしています。2枚目ですかね。これについて、高野センター長、かいつまんでご紹介いただけますか。

学校支援センター長 はい。県立学校長宛てということですが、夏季休業終了後から29日までの期間について、授業につきましては各校の状況に応じて対面授業やオンライン授業や自宅での学習課題を併用しながら接触機会を低減させるということ。また、感染リスクの高い学習活動は実施しない。2つ目は、学校行事についてですが、学校行事が何を指すかということ体験入学、学校見学、外部との交流授業などの学校行事ということで、不特定多数の人が入る行事と捉えられます。これについては、原則実施しないこと。また、始業式についてはオンラインで行うなど大人数を集合させない工夫、文化祭については、日時の変更が難しい場合には規模縮小などの接触機会を低減させる対策をしたうえで開催する。進路指導については、必要に応じてということになります。裏面です。部活動は、原則実施しないこと。ただし、公式大会に出場するものについては認めるということになります。8月30日以降については、県内の状況を踏まえてまた別途通知という内容になっております。

それから、小中学校の学校行事ですが、運動会等は全校が集まるということはありません。学年等での少ない人数での開催になっています。文化祭につきましても、だいたい9月下旬に予定されていますけれども、去年の経験も踏まえて、外部からのお客さんは呼ばないとか、できるだけリモートで開催するか密を避ける形で計画をしております。以上です。

橋本委員 よく分からないのが、新聞にも書いてありましたが、8月29日にはどういう意味があるのですか。

教育長 私も新聞で見ましたが、お盆の人流による影響の2週間後を想定してという記事を拝見しました。

橋本委員 それも県で、2週間後というのは15日ということでしょう。普通お盆休みって16日までありますよね。

教育長 そうですね。おそらく、日曜日ということですかね。

橋本委員 そういう意味ですか。松本市のこの連絡のほうは24日までが感染レベル5だという、このほうが非常に分かりやすいんだけど。

教育長

2週間の週の区切りだと思いました。

あと参考までに、もう少し厚いもので、これは文科省から8月17日付けの通知ということで、同じような内容が繰り返し発出されていまして、基本は報道等にあるとおり松本市も採っている方針のとおりになりますけれども、学校活動を一齐に1年前のように止めるということはないように、こういうことに配慮しながら継続できるようにということが述べられています。

ただ今回、デルタ株の影響があるということで、当然若年層の感染ということも心配されています。保健所長に確認したところ、学校内での感染拡大は今まで以上に広がっていくことが可能性としてあるので、基本的なことだけでも今まで行っていた換気、マスクの着用、それから給食での黙食、改めてここで気を引き締めて学校現場で徹底をしてほしい、そのことが一番だということで助言をいただいておりますので、そのように学校現場に伝えていきたいと思えます。

ただ、今も小中学生の感染者がいるわけですけれども、学校が始まってから感染が出た場合は、5月にもありましたけれども、学校の状況に応じてクラスあるいは学年、学校の閉鎖ということもあり得ると思えます。その時点で濃厚接触者等が今までは陰性であったものが陽性になるというようなことがありますので、その際には少し慎重に、幅広く、例えば休んでいただくとか、先ほどのようにICTを活用しながら学びは止めないよう配慮をしながら安全対策を取っていく方針でいきたいと思えます。随時教育委員の皆さんには連絡をとりながら進めていきたいと思えますので、よろしく願います。

小中学校の場合は、高校と違って去年の例でもそうだったんですけれども、保護者の皆さんが休みを取れない場合には、かえって低学年の子どもたちにとっては危険な状況にさらされてしてしまうというようなこともありますので、学校で安全対策を取りながら感染対策の徹底をしていくということも社会の中で一つの役割、大事な役割かと思えますのでそういった方針で進めていきたいと思えます。

ほかには何かございますでしょうか。

福島委員

マスクの徹底というのが県のほうからもあるかと思うんですけども、夏休み前までの状況、小学校の状況を子どもから聞いていると、当然熱中症対策もあり、またお子さんによってはマスクがすごく嫌だということで取っている場合

もあるし、それからウレタンマスク、布マスクを着用している子どもたちが多いというのを聞いているんですけども、このデルタ株への関わりに伴って、マスク自体の、いろいろありますけどその形態であるとか、それをどの程度まで徹底させるのかということについては決まっているのか、また各学校への通知というのをされるのかを教えてください。

教育長 福島委員から事前にそのご意見をいただいたものですから保健所長にもそのことを相談してあります。強制はできないのですが、政府の専門者会議等では不織布のマスクを推奨するとされている、あくまでも推奨という形になるんですが、そのことは学校現場に参考としてくださいということで、別途伝えていきたいと思っております。

ほかにございませんか。

学校支援センター長 近々、校長会などで参考としてそれを提示する予定です。

教育長 マスクを心配される、マスクをしていること自体を心配される保護者の方々の活動というのがあるものですから、先ほども出てきましたけども、肌にアレルギーを起こしてしまうとか、そういうこともあって、強制はできないんですが、疫学的には不織布が推奨されるという情報はきちんと伝えていきたいと思っています。

ほかにはどうでしょうか。よろしいですか。

どうぞ。

小柳委員 細かいことですが、学校長に出す通知、「4」が2つありますので修正をお願いします。

学校支援センター長 はい、失礼いたしました。修正いたします。

教育長 ほかによろしいですかね。佐藤委員もよろしいでしょうか。

ありがとうございます。それではこの通知につきましては、この会議が終わり次第、各学校に発出したいと思えます。

議案審議

教育長 それでは、議事に移りたいと思えます。

< 議案第1号 > 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

教育政策課長 議案第1号「令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」説明

教育長 説明がありました。事前にご覧いただいている部分がありますが、特に今回、全体の体裁のこともそうですが、社会教育委員による評価、それからそれに対する教育委員会の改善方針ということで気になる点がありましたらご発言をお願いいたします。

橋本委員 すごく細かい話ですが、18ページの学校給食課。ここの重点目標の達成度合いのところの語尾が、何々したことからB評価としました。こういう書き方をしているのは学校給食課と36ページの美術館、総合的にB評価といたしましたという結論になっているんですね。ほかの課はそういうことを全然書いてないです。逆に言うとほかの課に合わせたほうがいいんじゃないかな。何か言い訳がましい感じを受けます。

だから、例えば18ページであれば、「しかし」を取って、「一方、何々何々から柔軟な対応ができました」で終わったほうがいいと思います。

それと同様に、36ページも「事業がありました」で切れればいい。ほかの課と統一を図ったほうがいいと思います。

教育長 はい。おっしゃるとおりです。

教育政策課長 はい。ありがとうございます。修正したいと思います。

教育長 ほかにはいかがでしょうか。社会教育委員の皆さんも精力的にいろいろな意見を出してくださったと感じましたが、いかがですか。

令和3年度の事業までは、この第2次教育振興基本計画に基づいて点検評価を行うということになりますよね。

橋本委員 中山間地の関係で、去年の11月に、根羽学園とかに視察に行きましたよね。教育委員の事業項目の中にそれは書かなくていいですか。

教育政策課長 申し訳ありません。漏れですので記載させていただきます。すみませんでした。

橋本委員 研修会かな、どこの項目に書くのかは分からないけど。

教育長 教育政策課の部分ということになりますか。

橋本委員 教育政策課、6ページですよ。

教育部長 はい。

橋本委員 何番にするのかは分かりませんが、それから中山間地の学校も見学に行

ったじゃないですか。

教育長 はい。ありがとうございます。

ほかにはどうでしょうか。小柳委員いかがですか。

小柳委員 全体でいいですか。

教育長 全体でも細かいところでも。

小柳委員 社会教育委員さんの評価については丁寧に行われていると思います。それを受けて、教育政策課の9ページの教育文化センター改修について、社会教育委員の皆さんからはいろいろご意見いただいて評価されていますね。「再度、構想が終わることのないように慎重に検討」とか、「構想が変わることは必要だ」とかいろいろご意見いただいています。それを受けて、教育委員会の改善方針として、施設のあり方や回収などどこまで踏み込んで充実できるかという点については、慎重に検討を進めていくうえで、スケジュール的な見通しをしっかりと持っていかなくてはいけないと思います。

以下同じように、今後、教育委員会として改善方針をどうしていくのかというところが、具体的に書かれているところとやや不足しているところとあるように思います。

教育長 具体的にはどの辺が足りないか。確かに今の教育文化センターのことについて今のご指摘のようなスケジュール感を持ってとか、そういったことは必要だと思いました。教育委員会の改善方針ですので教育委員の皆さんの意見というものもここには当然反映するべき点ですので、細かいそういうところでもあったらおっしゃっていただいて。

橋本委員 その点、いいですか。

3ページに、「 第二次計画における6つの施策の柱」とあるわけですね。その一番下に「教育委員会の機能の充実」というのがあって、実はこの報告書自体も事務方で作っていただいて、一度我々でも議論しましたが、今回はこれでいいとしても、ポイントは教育委員会の機能と充実については1年間を振り返って、この教育委員会自体の中で自己省察と、それから自分たちの自己評価をやって、世間からどう指摘を受けるのかという、先ほどの社会教育委員も含めて、そういう場を来年度以降3月なら3月、4月なら4月に1年間の教育委員会の活動をめぐって自分たちはどれだけできたのか、何が足りなかったのかという教育委員会としての議論を踏まえて、それが冒頭に出てくるといいん

と思います。教育委員会の全体総括という形で非常に粛々と書いていただいているわけだけど、教育委員会のところが何回やりました、何々をやりました、臨時で何々をやりましたで終わってしまって、ボードである我々自身が自己省察をしていない。P D C Aサイクルを回してないという気がします。だから、それが下に下りていかないというか、それぞれがサブみたいになっている。どこが弱かった、どこがどうだったという議論をやったほうがいいのかと思います。やるかやらないかは、皆さんにお任せしますが、私はそう思います。そうするとさっきの一つ一つの項目についてもどこまでこうやってどうという形で下りていくんだろうと思いますけど。

佐藤委員　私も43ページの第4章の柱の6番目として挙げられている教育委員会の充実の達成率100%というところが、ゼロということが非常に気になっていて、その具体的なものが80ページ、81ページ、一番巻末ですけれども、この達成率全てがゼロ%、すべてがゼロ%の理由がコロナのためということではあるんですが、例えば3番の他団体との意見交換等とはもはやズーム等オンラインで十分できることであって、これをコロナのためということは今年度、私は言えないと思っています。そういったところも反映をさせる項目が多分この中では、教育政策課のこの評価の中には挙がってこない内容だと思うので、この部分をしっかりと省察して今年度に生かしていくべきだと思っています。

教育長　福島委員、いかがでしょうか。

福島委員　今おっしゃった、例えば他団体との意見交換等の80ページのものに関しては、例えばPTA連合会とのというのは毎年やっていましたけど、ただ、あちらの事情もあるというかこちらだけではどうしようもない部分というものもあると思うので、お互い、なるべく機器を活用してやっていくというパターンかなと。

佐藤委員　お互い100%という在り方は無理だと思うんですが、その代表者だけであるとか何らかの形で止めないということは大切だと思っています。1年は仕方がないとしても今年それを受けて2年目、オンラインが社会の中で普及してきていて、いろいろな市の委員会等もオンラインで実施をされている中で皆さんとの調整ということを積極的に取り組んでいきたいと思っています。

教育長　分かりました。事務局のほうでもそのこと取り上げていきたいと思います。ほかにいかがでしょうか。

小柳委員 31ページを例に述べさせていただくと、ここは文化財課のページですが、(1)松本文化遺産活用事業のところの社会教育委員の意見では、「子どもたちに保存の大切さを伝えていく」と書かれていたり、(3)史跡弘法山古墳再整備事業のところには、「特に子どもたちに対して」ということで書かれたりしています。確かに、子どもたちにこういう貴重な文化財をつたえていくことは大事だと思いますが、「次代に引き継ぐ」という大事な点から見ると、子どもたちに保存の大切さを伝えていく前段として大人がそれを承知していかななくてはならないと思います。特にこういう文化財などは、確かに子どもたちに直接伝えていくことが効率よいことだと思いますが、大人たちのかかわりを大切にしていきたいと思います。大人を通して子どもたちに伝えていくということが次代に引き継ぐという流れにつながるのではないかと考えています。

教育長 これは社会教育委員さんの意見だということですね。ご意見としては文化財課に伝えたいと思います。子どもたちもちろん大事だけれども、その前に大人が、子どもの周りにいる大人がまずそのことを理解していくことも大事だということですね。

小柳委員 そうしていかないと次代に引き継げないのではないかと考えています。

教育長 ただ、例えば松本市が力を入れている環境教育がありますよね。食品ロスのことですとか環境問題を直接担当の職員が保育園などに出向いて行っています。子どもたちが家庭に帰って保護者に伝えることで、改めて大人が自分の生活を見直すきっかけになったというようなこともあって、特に環境問題というのは先ほども問題に出ましたSDGsのことを考えると最も大事にしなければいけない柱だと思います。そういう活動を教育委員会だけではなく市長部局などが子どもたちのところに目を向けてもらうというのは引き続きお願いをしていきたいと思うし、それが家庭の中で大人に影響していけば、そのことは非常に素晴らしいと思っています。

ほかにはいかがでしょうか。先ほど橋本委員からご提案のあった、教育委員会がどんなことをやっているのという一般市民の方にとって分かりにくい部分というのを、こういう議論がされて、こういうようなことが決まりましたとか。例えば去年であれば、学校の休校をめぐって激しい議論があったと聞いております。先ほど話題にしたパラリンピックの学校の子どもの観戦の件をめぐっても、都の教育委員会の議論が話題になりました。教育委員会が何を考えてい

るのかということを見えるようにしていくことが私もとても大事なことだと思います。教育委員会が、市長部局とは独立した組織としての存在意義を可視化していくためにも大事なことだと思いますので教育政策課と組み立てを考えて、また委員の皆さんにご提示をしながら次回の点検評価からは入れていきたいと思っております。その際には、皆さんにいろいろな文章を書いていただくとか、そういうことも出てくるかと思えますけれどもご協力いただきたいと思います。

ほかにはいかがですか。はい、どうぞ。

小柳委員 46ページ、47ページの8の教職員の研修の中に、「教科等研究推進教員派遣研修」とあります。これを見ていくと、令和3年の目標は市内全校で1回以上の研修実施という目標を定めており、本年度も継続していくということになっています。これについては、中核市になって教職員の研修をどうしていくかということと関連して大事な制度だと思いますので、推進していただきたいと思えます。

教育長 教科等研究推進教員派遣というのを、小柳委員からもう少し補足説明してもらっていいですか。

小柳委員 各教科等の領域で小学校、中学校のそれぞれの学校から先生を推薦してもらい、その先生が学校からの要請に応じて訪問し、授業研究と一緒に関わったり、授業の支援をしたりしていく制度ではないかと思えます。令和2年度は85件あったので、コロナ禍の中でも続けてこられたのだと思えます。今後もこの制度の充実を図っていただきたいと思えます。現場から選ばれた先生が他の学校と一緒に勉強することでその先生も伸びますし、それを受け入れて一緒に研修する学校もためになるのではないかと思えます。

教育長 分かりました。今、GIGAスクールの関係でICTの活用が課題になっていて、担当から報告を受けたのですが、進んで活用しているクラスとそうでないところとの差が出てきています。仕方のないことだと思うのですが、例えばICTを活用した素晴らしい授業をしてくださる方がいらっしゃればその情報をみんなで共有をしていくとか、それもこのGIGAスクール構想の中ではより大事かと思えますので、柔軟に対応できるように担当課のほうには伝えておきます。

ほかにはいかがですか。

この進捗状況の文字が小さくて読みにくいかなと思いましたが、よろしいですか。

それではご意見いただいたところを修正しまして、市議会に提出するという
ことで、議案第1号は、承認することとします。

提出の期限っていつでしたかね。

教育政策課教育政策担当係長 30日だと思います。

教育長 30日。分かりました。では修正したところだけまた委員の皆様にはお知らせをした上で製本したいと思います。ありがとうございました。

それでは、臨時教育委員会の案件は以上ということになります。何か事務局からありますでしょうか。

<その他> 日程について

事務局 「日程について」説明

教育長 よろしいでしょうか。

橋本委員 1点よろしいですか。ひどい雨が続いていますが、県内もいろいろなところで土砂災害が起きたりして、学校の通学路とか、あるいは学校の施設そのものがハザードマップ上引っかかっているようなそういったところの点検はなされているのでしょうか。

教育長 災害時に、学校教育課の学校施設担当を通じて点検はしております。ただ、今ご質問のあった通学路という点では個々の状況が点検し切れていない部分もあると思いますので、至急学校教育課を通じて点検をしていきたいと思っております。

橋本委員 明日から始まる場所がありましたよね。

教育長 そうですね。明日と二十日から、月曜日からが一番多いと思っております。

橋本委員 月曜日。

教育長 はい。

橋本委員 そこは今重要なポイントだと思いますので、よろしくをお願いします。

教育長 はい。そうですね。岡谷の土石流のようなことがあってはいけないと思うので、再度、学校で危険な箇所を点検するように徹底したいと思います。

それから、例の教職員の職域接種のことですが、結局どんどんどんどん先送りになって、当初は夏休み中に2回目が終わらねばということで申請をしていましたが、今のところ最新の通知によりますと一番早くできる日程が、9月

11日の土曜日ということです。50代、40代の方は自治体の集団接種のほうに申請をされた方も多いと思いますが、今、もう一度この申請の確認をしていますけれども、1,200弱ぐらい。

教育部長 1,200です。

教育長 こども部の保育士、それから放課後児童預かり事業の指導員も含めてこの中で接種をしていく予定にしています。

あと、松本大学さんからもお声をかけていただいて、近隣の学校で希望する先生はそちらで、もう少し先行して打つこともできそうですので、ありがとうございます。

ほかには。よろしいですか。この後の研究会は2時半からですかね。

それでは、以上で第3回臨時教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

閉会宣言

伊佐治教育長は、令和3年度第3回臨時松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

<午後2時20分閉会>

会議録調製職員

教育政策課教育政策担当係長

小澤 弥生

会議録署名委員

佐藤 佳子

小柳 廣幸